

今回はスキット問題を長編化したものとこれまでのまとめ。
まとめは全部動画版にて。来週はスキット問題なし。(先生との
会話で便宜的に敬語を用いている)

2018年の春、都内某所のウクライナ語教室にメイとマサミが
来た。そこにメイが最近友達になったヴィクトルが先生のお手
伝いとして活躍していることを知ることになる。

Сенсей(先生) = викладач(教師)

～教師準備室にて～

Сенсей: ではヴィクトルさん、お願いしますね。

Віктор: Так!

Сенсей: これが生徒のリストなんですけど、君と同年の生徒
も多いからヴィクトルのほうが接しやすいかもね。

Віктор: Мей Йокота ... Це Мей?

Сенсей: どうしましたか?

Віктор: Я думаю, що Мей моя остання подруга, але я не питав її
прізвище.

Сенсей: 友達ですか。もしメイさんが君の思い浮かべている方
と同じ方なら、今日初めてだというメイさんの友達も尚更安心
して受講してくれると思いますよ。

Віктор: Це так?

Сенсей: そうですとも。では、改めてお願いしますね。

Віктор: Так!

～教室が始まった～

センセイ: それでは、今日のウクライナ語教室を始めます。初めての生徒がいるので紹介しておきましょうか。Привіт! Я вас викладач. Мене звати Такахіро Ямамото. Називайте мене, будь ласка, Сенсей. 今私が何と言ったか分かりましたか?

メイ: Так!

センセイ: メイさん、どうぞ。

メイ: こんにちは! 私はあなたの教師です。私の名前は山本高宏です。先生と(1)ください。

センセイ: 正解です。では、初めての方、Так!と返事して下さい。

マサミ: Так!

センセイ: あなたがマサミさんね。今日から2～3回程度の体験入学ということでよろしくお願ひします。そして、今日から先生のアシスタントが付きます。メイさんは最近知り合ったと思います。ヴィクトルです。

ヴィクター: Привіт, я Віктор. Дуже приємно познайомитись!

メイ: Ох, Віктор! Ти ... Ні, ви Сенсея помічник?

ヴィクター: Так, я сенсея помічник. ②

マサミ: すごいね、メイ。ウクライナ人と知り合いなんて。

ヴィクター: Ви Масами? Приємно познайомитись!

マサミ: えっと...

メイ: こういうときは Мені теж даよ!さっきの聞こえた?

マサミ: Так, мені теж!

センセイ: では各自終わりまで持ち場へ行って下さい。

□スキット問題

- (1) 先生の言葉「どうしましたか。」をウクライナ語にせよ。
- (2) 空白(1)を埋めよ。
- (3) メイがヴィクトルに対する二人称を ти から ви に改めたのは何故か。
- (4) Сенсея は主格、属格、対格のうちどれか。
- (5) 下線部②を和訳せよ。
- (6) 先生のウクライナ語理解力とヴィクトルの日本語理解力はどちらが上手と推測できるか。理由も答えよ。

経歴設定

メイ: 都内の大学へ通う2年生。大田区在住

ウクライナ語教室歴4年目(2期生)

ヴィクトル: ウクライナ国籍であるが10歳の頃に父の転勤で東京へ、現在は市川市在住

先生: 大阪府内の大学を卒業後、府内で高校の英語教師に。そして38歳のときにウクライナ語を学び、42歳で高校教師を辞めてウクライナ語教室を開講。現在に至る。草加市在住

マサミ: メイと同じ大学に通う2年生。品川区在住

ウクライナ語教室は初めて(5期生)

さて、ここまでいかがだったでしょうか。日本のウクライナ語教室という設定なのでウクライナ人は少ないが、このウクライナ語教室のスキットを通して本シリーズでも学んで頂きたい所存である。

次週は名詞の格変化を深く扱う。これまでで主格、属格と対格を扱ってきたが、ウクライナ語の格変化はこれだけではない。ここからが本番といったところである。